

パソコンいよいよ教室新聞



「日本の学生のパソコンスキルは先進国で最低レベル」というのをご存じですか？
アメリカのニュース雑誌「ニューズウィーク」でそんな記事が報じられていました。

普及しているように見えるが

学生など若者を見ると、皆がスマートフォン片手に、学校ではパソコンの授業もあり

と、機器に精通しているように見受けられる昨今です。が、アメリカやドイツなど先進国を見ても、若者のスマホやパソコンの所持率が、なんと最低だったという調査報告があります。

（ノートパソコンで言えば、日本以外は7割を超えますが、日本は5割にも満たない状況です）

だったら、家族で共用しているのかといえば、そうでもないようで、総合すると「若者の半数がパソコンを持たず、3割は共用もしていない」結果になったそうです。

メールやネットで情報収集する、ゲームする、といったことはスマホでも可能ですが、それ以上のことや仕事上となると、やはりパソコンを使うという「スキル」が求められます。



パソコンのスキルは？

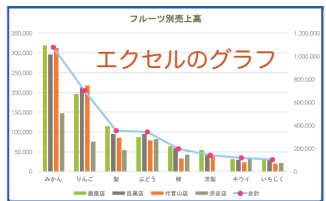
パソコンのスキルは、先進諸国では実際の位置にあるのでしょうか。

エクセルなどでグラフが作れるか、パワーポイントなどでプレゼン資料が作れるか、を題材に各国調べてみると、これがまた日本は最低レベルという結果となりました。

（「できる」としたものが3割程度にとどまった）

パソコンを所持しているとした割合になんとなく合致しています。

記事では「日本での情報教育の遅れと、パソコンに触れる機会を増やし、教育の場も実際の社会並に情報化を進める必要がある」と結んでいます。



若者にパソコンの基礎的なことを教える機会もありますが、若いからといってそういったスキルが備わっているかといえ、そうではない印象があります。



これから望むと望まざるにかかわらず、益々パソコンが必要な時代になります。必要なのは若はなく、むしろ「アラアラフィフ」やそれ以上世代

スキルの測り方

習字や空手などの習い事のスキルは、級位や段位を取得することで測れます。では、絵画や音楽などはどうでしょうか。段位などない代わりに、練習を積むにつれ、実感としてテクニックが増して上手くなっていきます。

（ヴァイオリンなど思い浮かべれば想像つきますね。）さて、パソコンはどうでしょう。絵画などと同じように、練習を積むにつれて上手くなってきます。（始めた当初は文字しか入力できなかったのに、今では家計簿までスイスイ作れるようになった...など）また、パソコンの資格試験を受けるのもスキルの測り方の一つでしょう。

スキルの測り方はそれぞれですが、どれもスキルを得るためには熟練が必要、ということは共通なようです。

当教室では、スキルを測る一つの手段としての資格試験が受験できます。文書作成、データ活用、プレゼンテーションの技能を問うテストです。

就活でのアピールに、今のご自分の技量を測るのに、また自分への自信にもなります。試験は商工会議所が行っている「PC検定」です。それぞれ「2級」「3級」が受講できます。詳細は教室か商工会議所のWebページを御覧ください。



教室のWebページは左記アドレスまたは、QRコードからどうぞ。

<http://pc-iwakura.com/>



See you next Month